

「新毛呂山町史」が刊行されました

全ページカラーの
わかりやすいビジュアル版！

A4版 235ページ 価格 2,000円

昭和53年に「毛呂山町史」が刊行されてから、約30年が経過しました。その間、歴史的な発見や新しい郷土研究の発表などがあり、それにもない新しい町史の編さんが求められました。平成18年度から本格的に「新毛呂山町史」の編さん作業が始められ、そして、この度「新毛呂山町史」が刊行されました。

「新毛呂山町史」は、通史編1冊で全ページカラー、わかりやすいビジュアル版で最新の成果も数多く盛り込まれています。構成は、序編自然から始まり、第1編原始・古代、第2編中世、第3編近世、第4編民俗、第5編近代・現代、そして毛呂山町歴史年表となっております。この新町史の特徴として、写真を多く取り入れた点と初めて自然と民俗を取り上げた点があります。また、内容を読んで詳しく知りたい人のために参考とした文献リストを掲載するなどの工夫が凝らされています。初めて読む人にとってもわかりやすく編さんされた一冊です。

「新毛呂山町史」のお求め方法

窓口で直接購入される場合

歴史民俗資料館窓口または毛呂山町役場5階生涯学習課窓口
郵送で購入される場合

- ① 購入冊数
 - ② 住所・氏名・電話番号
 - ③ 購入代金（定額小為替または現金書留）
 - ④ 送料（1冊450円分の切手）
- ※複数冊購入の場合は、ご相談ください。
- 問 歴史民俗資料館 ☎2951-8282、FAX 2951-8297



毛呂山のお囃子	
地区名	毛呂本郷 長瀬
継承団体	毛呂本郷囃子保存会 長瀬囃子保存会
奉納する祭礼	八坂神社のお天孫 出雲伊波比神社の元皇祭 出雲伊波比神社の奉納
流	神田囃子大踊流
楽	三ッバ、地、キギマ、ニッパ、中入、カマクラ、クニガタメ、四ッ目
舞	神田丸、園ガタメ、ハヤシ、聖天、舞食、神田目、仲入、カシノウ、ニッパ

実際に約30年ぶり！

わが町

の歴史

をたどる

お囃子

の文化

を伝える

新毛呂山町史

の

魅力

を

紹介

する

本

書

です

を

お

読み

たい

です

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

毛呂山の歴史を伝えたい

毛呂山の歴史に誇りをもって
もらいたい

『新毛呂山町史』の編さん作業
に携わるにあたりまず考えたこと

は、「こうしたら読む人を少しでも惹きつけることができるか」ということです。約1200点の写真と図表を使い、開いただけで毛呂山の歴史に楽しく触れられるような紙面を目指しました。また、難しい言葉には用語解説をつけて、小学校高学年の子が読んでわかるように工夫をしました。本文と写真、図表、コラム、参考資料を、A3の紙面にどうやって組



町史編さん専門調査員 内野 勝裕 さん

み込むかとても悩みました。編さんを進めるうちに、あれもこれも入れたくなって、今ではやや欲張りすぎたとも思っています。

こうして出来上がったビジュアル版の『新毛呂山町史』ですが、実のところ以前に刊行された『毛呂山町史』のほうが詳しく解説されているところもあります。2冊セットで読んでいただければ、毛呂山町の歴史をより深く理解することができると思います。

この『新毛呂山町史』を手にして、「歴史にあまり興味がない人が読んでも、これなら楽しく読める」といつてくれた人もいます。毛呂山町のことをあまりよく知らない人がこの本を手にしたときには、毛呂山町の歴史がこんなにも豊富だということを知ってもらいたいと思います。また、毛呂山町に長く住んでいる人にとっても、身近にいて気がつかないようなところがたくさん載っています。町内の中学校の授業でもぜひ活用してもらい、子どもたちが、毛呂山町の歴史に誇りを持ってもらえたら嬉しく思います。

興味のある1ページ
を見つけてもらえ
ば嬉しい

私が『新毛呂山町史』の編さんに携わったのは、平成21年度からでした。当初は、戸惑いもありましたが、内野町史編さん専門調査員の指導のもと、無事刊行することができ、今では嬉しく思っています。

私は町内在住ではないので、町外に住んでいる人が読んだときにわかるかどうかという点に気をつけて編さんしました。「私がわからないことだから、他の人もわからないのではないか」と思うときには遠慮なく意見を言いました。専門的になりすぎないように、常に読み手の目線で編さんに加わりました。町外の人には、自分の住んでいるところとの共通点と違っている新鮮さの両方を感じ取ってもらえればと思います。また、町内の人には、毛呂山町にはこれだけたくさん資料があり、それを見やすい形で見る機会はなかなかないということの素晴らしさに気付いていただければと思います。



歴史専門調査員 牛田 ますみ さん

また、『新毛呂山町史』で使用する写真の撮影も私が行ったのですが、写真は、より実物の資料に近づけられるよう、色味を大切にしながら撮影しました。実際に本になったときにどのように見えるかという点にこだわり、なるべく単調にならないよう、写真配置のバランスを考えて編さんしました。写真が多く使われるため、小学生が読んでもわかり、楽しく見ることができるよう『新毛呂山町史』を目指しました。

「限りなくいいものを載せたい」と思いながら、写真を撮り、絵やグラフを作りました。『新毛呂山町史』を手にした皆さんが、普段は意識しない町の歴史に気づき、興味のある1ページを見つけていただければ、とても嬉しいです。